

# Combi

## コンビ ジョイトリップブースター plus

### 取扱説明書

お子さまの安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。



お使い  
いただく  
前に

使いかた

お手入れ・  
その他

本製品は、UN R129/03において認可された汎用ブースタークッション改良型幼児拘束装置です。

- 本製品は車両メーカーによって車両ユーザーマニュアルに記載されているi-Sizeおよび汎用の車両着座位置で使用するのに適しています。
- UN R16または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。  
ご不明な点がございましたら、当社コンシューマープラザまたは販売店にお問い合わせください。

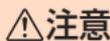
#### お子さまの条件

身長：125cm～150cmまで



**危険**

お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。  
身長 125cm～150cmまで



**注意**

お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。

# もくじ

## お使いいただく前に

お使いいただく前に	2
各部のなまえ	3
ご使用の条件	5
取り付けできる座席	6
車両シートベルトの種類と使用上の注意	7
取り付けできない座席	8
安全にお使いいただくために	10
組み立て	17

## 使いかた

取り付け準備	19
車への取り付けかた	21
車からの取りはずしかた	27
お子さまの座らせかた	28
取り付け完了チェックのしかた	31

## お手入れ・その他

カバーの取りはずしかた・取り付けかた	33
お手入れのしかた	34
保管・廃棄のしかた	35
問い合わせ先	裏表紙

# お使いいただく前に

このたびは、コンビ ブースタークッションをお買い上げいただき、ありがとうございます。お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

## 〈中古品のご使用について〉

- ・使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ・ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

！ ブースタークッションは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、ブースタークッションを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

## ● 表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
 <b>ワンポイント</b>	ブースタークッションをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

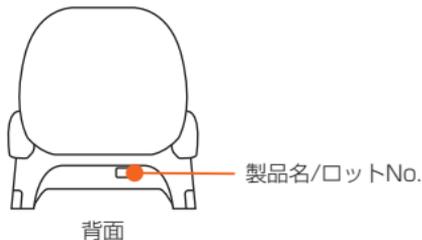
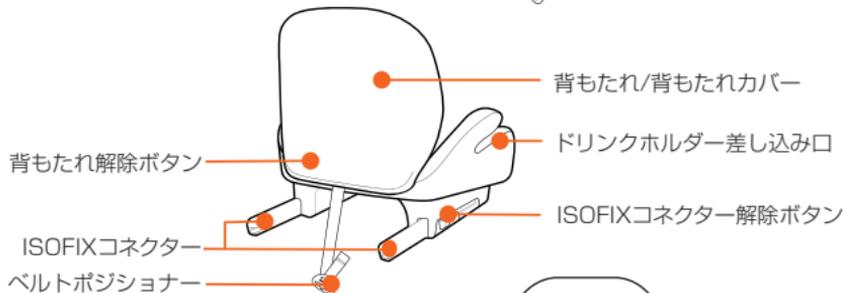
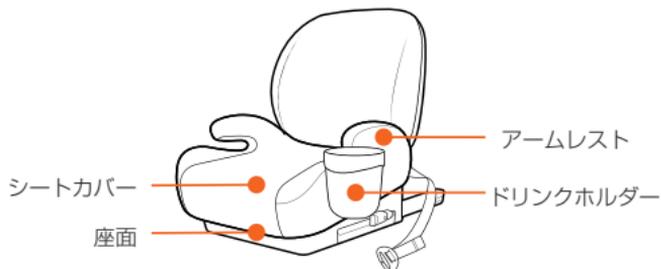
# 各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

●ご使用前に、クイックスタートガイドの「品質保証書」に次の項目を記入してください。

- ① 製品名とロットNo.（座面裏側に貼ってあるシールに記載されています）
- ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③ 販売店名

お使いいただく前に



※ 本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

## 梱包内容

●本体



●ISOFIX キャップ



●ドリンクホルダー



●クイックスタートガイド



●お客様登録カード



※製品により仕様が異なる場合があります。

また製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

お使いいただく前に

# ご使用の条件

お子さまの身長に合わせて以下のモードで使用します。

お使いいただく前に

使用状態		
条件	身長 125cm ~ 150cm まで	
お子さまの拘束方法	車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。	
車両への固定方法	A	B
	ISOFIX コネクターとお子さまを拘束している車両シートベルトで車両座席に固定します。	お子さまを拘束してる車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。



**危険**

お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。  
身長 125cm ~ 150cm まで



**警告**

必ずベルトポジショナーを使用してください。  
衝突時、シートベルトが肩からはずれて危険です。

# 取り付けできる座席

本製品は、「UN R129/03」において認可された製品です。本製品は汎用ブースタークッションの取り付けを認可された座席に取り付けることができますが、ご使用前に必ず車両の取扱説明書を確認してください。

ご使用の際には、必ず車両の取扱説明書で下記のISOFIXサイズクラスに適合しているか確認してください。

## 本製品のISOFIXサイズクラス

お子さまの身長	固定具
125cm～150cm	B2

## ISOFIX 取付金具について

ISOFIX 取付金具とは、ISOFIX ブースタークッションを取り付けるために、車両背もたれと車両座面の間に装備された金具です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

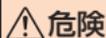


お使いいただく前に

# 車両シートベルトの種類と使用上の注意

ブースタークッションは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。

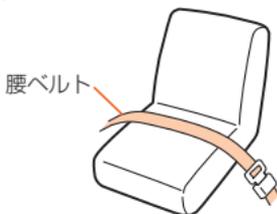


**危険**

- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

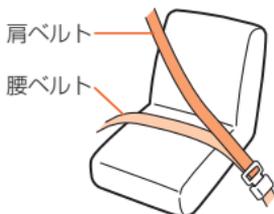
## 2点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。



## 3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



シートベルトの種類と特徴(見分けかた)		取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に入出しし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとブースタークッション固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。 (シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。 シートベルトを1度戻して、ブースターシート固定機能を解除してから取り付けてください。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	使用できません。

※ シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

# 取り付けできない座席



お使いいただく前に

下記以外の座席でも、プースタークッションをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

※ 助手席への取り付けはエアバッグの有無に関わらずおすすめできません。

● **エアバッグ装備の座席。**

… サイドエアバッグのみの場合には使用できません。



● **進行方向に対して横向き、または後向きの座席。**



● **極端なバケットシート。**

… 座面の中央が深くへこんでいる座席。



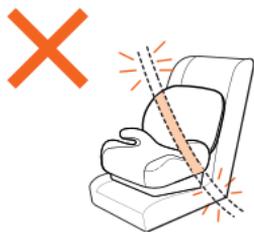
● **座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。**



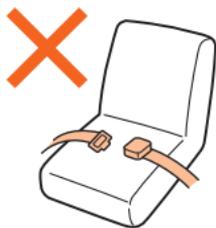
# 取り付けできない座席

お使いいただく前に

- 車両シートベルトの付いていない座席。



- 2点式シートベルトの座席。



- 車両シートベルトの長さが極端に短い座席。



- パッシブシートベルトの付いた座席。

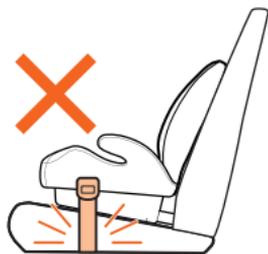
※パッシブシートベルトとは

… 車両座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)



- 車両シートベルトが座席の中間から出ている座席。

… プースタークッションの腰部ベルトガイドの位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。



## ⚠ 危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- 使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。



- お子さまがブースタークッションの上にとったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。



- エアバッグ装備の座席では、ブースタークッションを使用しないでください。

衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



## 安全にお使いいただくために

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。



- お子さまを座らせたとき、車両シートベルトの差込金具が車両バックルに正しく差し込まれており、はずれないことを確認してください。



### ⚠ 緊急時の脱出

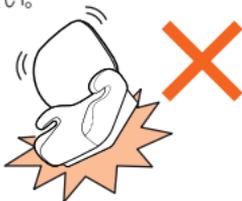
事故など緊急時は、保護者のかたが車両シートベルトをはずしてすみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



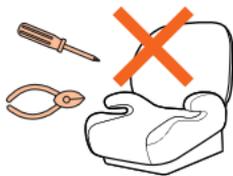
**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



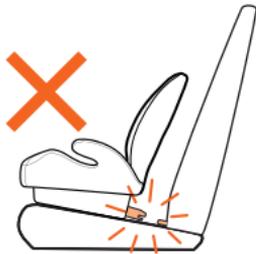
- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、ブースタークッションを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因になります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- お子さまが座っていないときでも、ISOFIXコネクターおよび車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



## 安全にお使いいただくために

- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。



- チャイルドシート固定機能付きシートベルトのときは、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。



## ⚠️ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。

- ブースタークッションを車両のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。



- 直射日光があたると、本体やシートベルトの差し込み金具などが熱くなり、ヤケドをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。

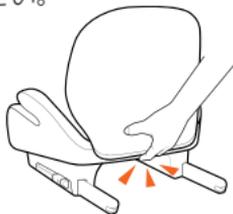


- 座席の表皮素材(革など)や形状によっては、座席に傷や跡がつくおそれがあります。

- シートカバーなどの縫製品や、クッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 背もたれと座面の接合部に指などをはさまないように注意してください。



- お子さまを乗せた状態で、取り付け・取りはずし・持ち運びはしないでください。

## 安全にお使いいただくために

- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。



- 車両座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、プースタークッションを取り付けないでください。プースタークッションがしっかり固定されません。



- プースタークッションを通常のいすとして使用すると、転倒してケガの原因となります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。

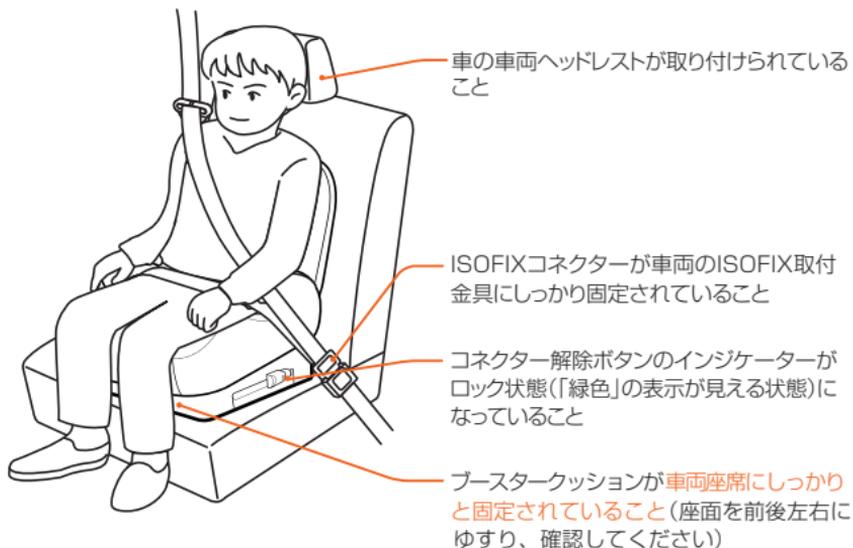


- 走行中は、プースタークッションの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがプースタークッションに触らないようにしてください。
- プースタークッションを風雨にさらさないでください。
- プースタークッションの操作や調節をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。

## ⚠ 日常の点検

ブースタークッションの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

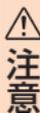
※ 5ページおよび21ページ車両の固定方法Aで取り付ける場合。



お使いいただく前に

# 組み立て

工場出荷時、本製品は背もたれと座面がはずれた状態になっています。



注意

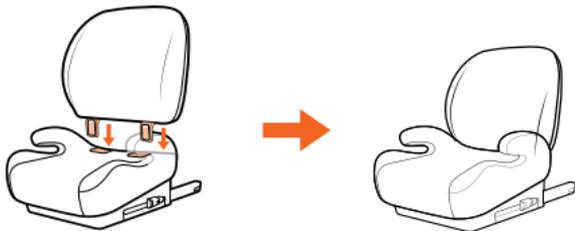
- 組み立てるときは、平らで柔らかい床の上で行ってください。製品の破損や床への傷つきを防ぎます。
- 組み立てるときは、周囲の人にも気をつけて指などはさまないように注意してください。
- 組み立てたブースタークッションを持ち運ぶ場合は、図のように持ち、**背もたれと座面の接合部に指をはさまないように**注意してください。



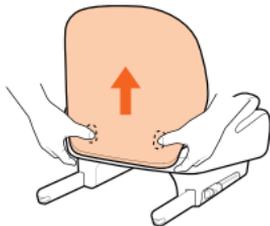
お使いいただく前に

## 背もたれの取り付け・取りはずしかた

- ① 背もたれを90度にして持ち上げ、座面の背もたれ差し込み口に差し込んでください。



- ② 背もたれを取りはずす際は、指で背もたれ解除ボタンを押してください。



ワンポイント



背もたれは無しでも使えます。

# 組み立て

## ドリンクホルダーの取り付けかた

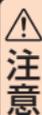
ドリンクホルダーは、座面の左右どちらでも、取り付けることができます。

- ① ドリンクホルダー差し込み口にドリンクホルダーを『カチッ』と音がするまで、しっかり押し込みます。
- ② ドリンクホルダーをひっぱり、抜けないことを確認します。



警告

- ドリンクホルダーに熱い飲物を入れしないでください。やけどをするおそれがあります
- ドリンクホルダーが車のドアなどにぶつかる場合は、反対側に付けなおしてください。
- お子さまがドリンクホルダーに体重をかけないようにご注意ください。破損するおそれがあります。



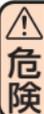
注意

ドリンクホルダーはすべてのドリンクサイズには適応できません。ドリンクホルダー内の飲物が安定していることを確認の上、ご使用ください。

## ドリンクホルダーの取りはずしかた

ドリンクホルダーを引き抜きます。

お使いいただく前に



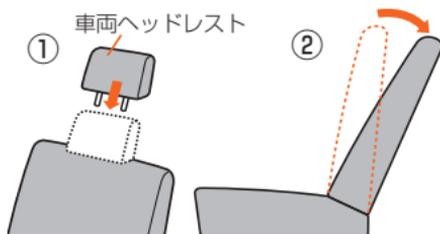
- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- フロントエアバッグ装備の座席では、プースタークッションを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



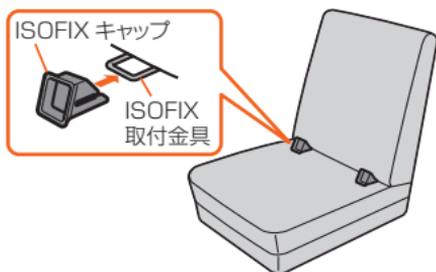
車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。

# 取り付け準備

- 1** ① 車両ヘッドレストを取りはずしている場合は取り付ける。  
② 車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。



- 2** ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



使  
い  
か  
た

ワンポイント



ISOFIX取付金具が車両座席にかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIXキャップを使うことで、ブースタークッションを取り付けしやすくなります。ただし、車両座席によっては取り付けるとブースタークッション背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



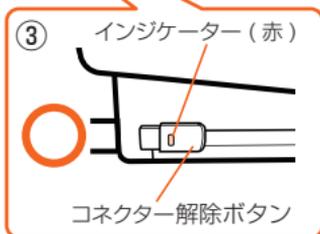
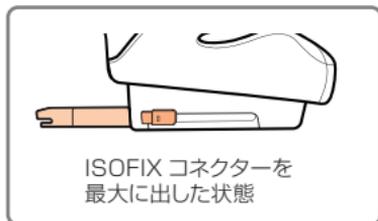
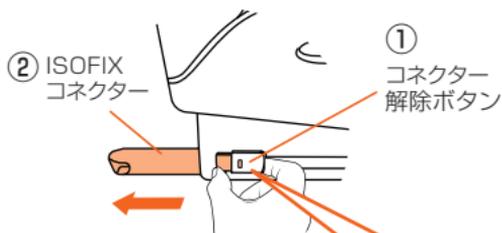
以下の2通りの取り付けかたができます。

お子さまの身長 125cm～150cmまで		
お子さまの拘束方法	車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。	
車両への固定方法	A	B
	ISOFIX コネクターと車両シートベルトで取り付けます。	お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。

## Aでの取り付け方

### 1 ISOFIX コネクターを引き出す。

- ① 側面のコネクター解除ボタンを押しながら、
- ② ISOFIX コネクターを最大まで押し出す。
- ③ コネクター解除ボタンから手をはなし、インジケーターがロック解除状態（「赤色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。



## 車への取り付けかた

### 2 ISOFIX 取付金具に ISOFIX コネクターを取り付ける。

- ① 車両座席の左右 ISOFIX 取付金具に「カチッ」と音がするまで、それぞれ ISOFIX コネクターを差し込む。
- ② 左右のインジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。



①

ISOFIX  
取付金具



ISOFIX コネクター



②

コネクター解除ボタン

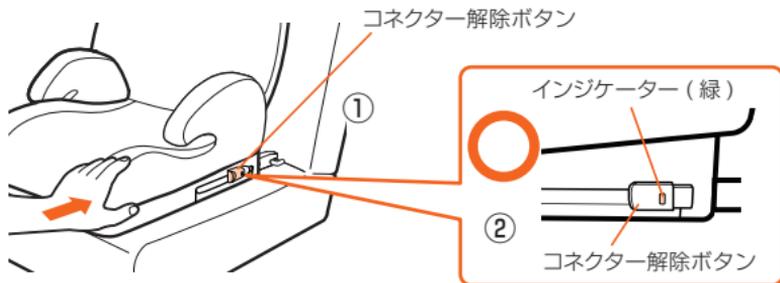


インジケーター  
(緑：ロック状態)

使  
い  
か  
た

### 3 ブースタークッションの背面が車両背もたれに接するまで、座面を押し込む。

- ① ブースタークッション背面が車両背もたれに接するまで左右片側ずつ座面を強く押し込む。左右均等に車両背もたれに接するように調節する。
- ② 手をはなし、インジケーターがロック状態(「緑色」)の表示が見える状態になっていることを確認する。



#### ワンポイント



- 座面を押し込む際は、左右で押し込み量の差が大きくなりすぎないように確認しながら、調節してください。
- 車両によっては、しっかり押し込んででもブースタークッション背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。

### 4 車両背もたれを調節して、ブースタークッションと車両背もたれとの間に、すき間がなくなるようにする。



#### 警告

ブースタークッションと車両背もたれのすき間が極端に空いた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

# 車への取り付けかた

## 5 車両シートベルトで固定する。

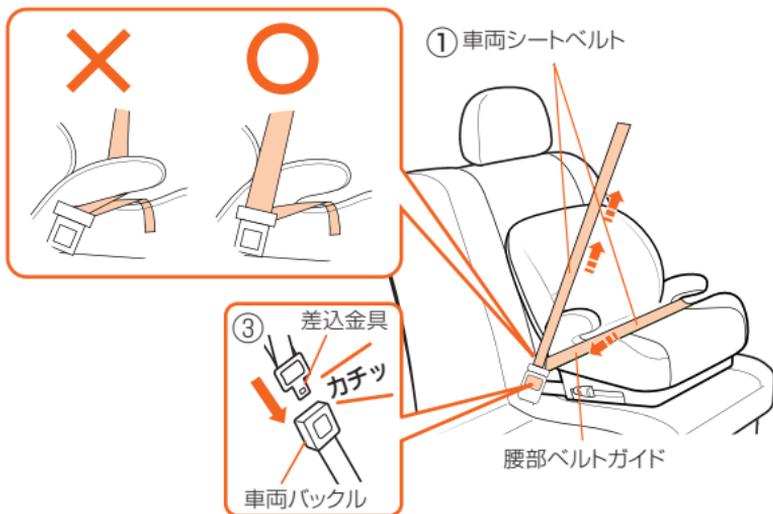
- ① 車両シートベルトを引き出す。
- ② 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
- ③ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。

※ ISOFIX キャップが取り付けの妨げになる場合は、ISOFIX キャップを ISOFIX 取付金具からはずしてください。



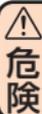
**注意**

急ブレーキや衝突時に乗員に当たるおそれがありますので、お子さまを座らせていないときでもブースタークッションを固定してください。



使  
い  
か  
た

## 車への取り付けかた



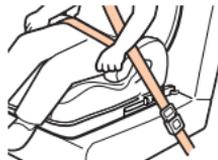
危険

ISOFIXコネクターを使用することで、車両シートベルトや車両バックルの取り付けの妨げになる場合は、ISOFIXコネクターを使用せず、車両シートベルトだけで取り付けてください。



警告

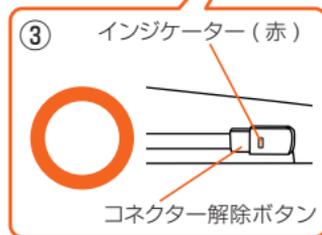
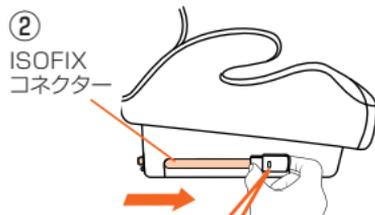
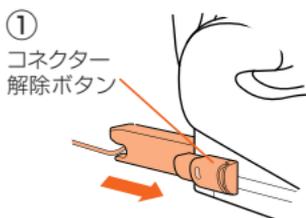
車両バックルや差込金具が製品本体にあたり車両シートベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しないでください。ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。



## Bでの取り付け方

### 1 ISOFIX コネクタを収納する。

- ① 側面のコネクタ解除ボタンを押しながら、
- ② ISOFIX コネクタを止まるまで収納する。
- ③ コネクタ解除ボタンから手をはなし、インジケータがロック解除状態（「赤色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。



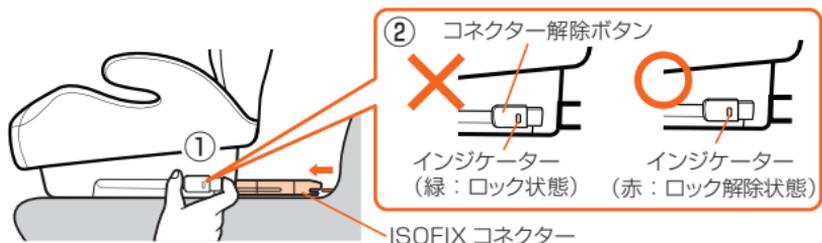
使  
い  
か  
た

### 2 車両シートベルトで固定する。

(24 ページ5の手順「車両シートベルトで固定する」参照)

# 車からの取りはずしかた

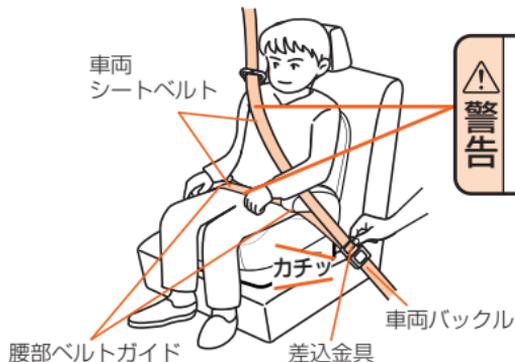
- ① 左右のコネクター解除ボタンを2本の指で押して、ISOFIX取付金具からISOFIXコネクターをはずす。
- ② インジケーターがロック解除状態(「赤色」の表示が見える状態)になっていることを確認する。



# お子さまの座らせかた

## 1

- ① 差込金具を車両バックルからいったんはずし、お子さまを深く座らせる。
- ② 車両シートベルトを引き出す。
- ③ 車両シートベルト（腰部）を左右の腰ベルトガイドに通す。
- ④ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



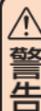
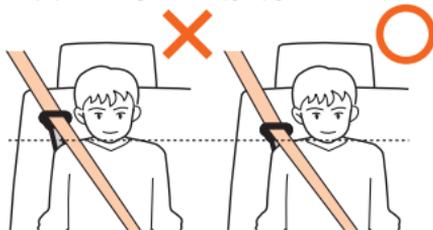
使いかた

## 2

- ① 車両シートベルト（肩部）をベルトポジションナーに通し、お子さまの肩より少し高い位置にベルトポジションナーの長さを調節する。
- ② 車両シートベルト（肩部）がアームレストの上にあることを確認する。

## ベルトポジショナーの高さの目安

ベルトポジショナーの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。



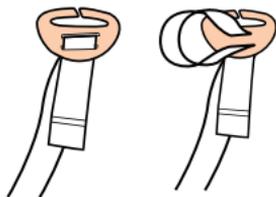
ベルトポジショナーは、車両シートベルト（肩部）がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、ベルトポジショナーが低くなったときには、高さを調節し直してください。

- 3** 車両シートベルトがたるんでいる場合は、車両シートベルト（肩部）を上へ引いて張り具合を調節する。



## ベルトの調節かた

ベルトポジショナーのベルトを短くする、長くする場合は、図のようにベルトを調節してください。



# お子さまの座らせかた

●本製品は、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが1人で乗り降りすると、車両座席からすれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せおろしをしてください。

●お子さまを下図のように座らせると、プースターシートが本来の機能を果たさず、危険です。

●お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。



• のけぞる、前かがみになる。



• お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。



• 中腰・正座・立てひざなどをする。



●必ずベルトポジショナーを使用してください。衝突時、シートベルトが肩からはずれて危険です。



警告

使いかた

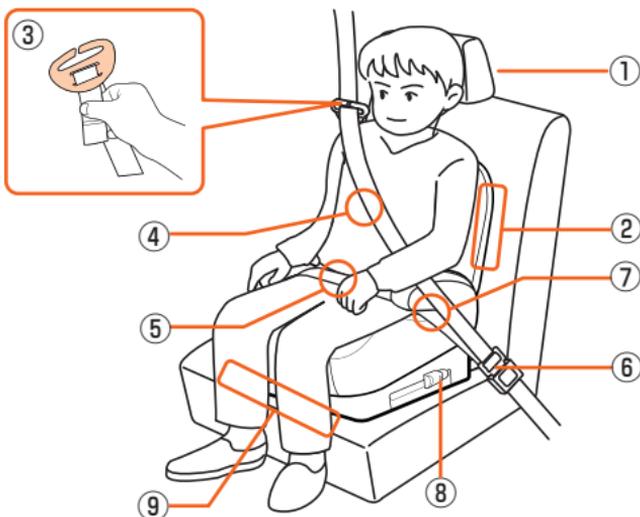
# 取り付け完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

車両への取り付け方法 A は①～⑨を確認

車両への取り付け方法 B は①～⑦を確認

- ① 車の車両ヘッドレストが取り付けられていること。
- ② 車両座席の背もたれとブースタークッションの間に大きなすき間がないこと。
- ③ 車両シートベルトがベルトポジショナーを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ④ 車両シートベルトがお子さまの体に密着して、ねじれやたるみがないこと。
- ⑤ 車両シートベルトがお子さまの骨盤を押さえていること。
- ⑥ 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ⑦ 車両シートベルトが左右の腰部ベルトガイドを通っていること。
- ⑧ コネクター解除ボタンのインジケーターが「緑色」になっていること。
- ⑨ 本体左右が車両座席と平行になっていること。(ISOFIX コネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。)





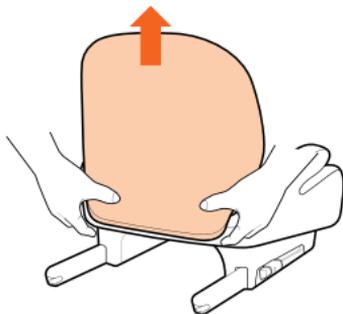
- **車両座席のひじかけなどに隠れてインジケーターが目視で確認できない場合**  
ISOFIX 取付金具へISOFIX コネクターを差し込み、左右のISOFIX コネクターが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。その後、「取り付け完了チェックのしかた」の完了チェックを行ってください。
- **車両座席の形状によってコネクター調節レバーの操作ができない場合**  
ISOFIX コネクターの長さを車両背もたれに接するよう調節した上で、ISOFIX 取付金具へISOFIX コネクターを差し込み、左右のISOFIX コネクターが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。その後、「取り付け完了チェックのしかた」の完了チェックを行ってください。

## カバーの取りはずしかた・取り付けかた

### 背もたれカバーの取りはずしと取り付け

背もたれカバーを上から取りはずす。

※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。

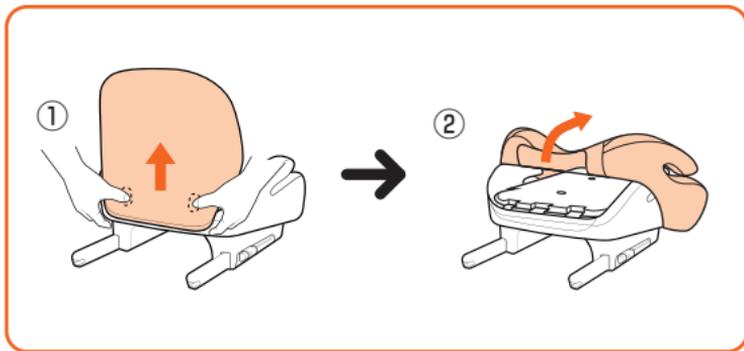


### 座面カバーの取りはずしかた

① 背もたれと座面をはずす。

② 座面カバーを取りはずす。

※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



# お手入れのしかた

## シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

### 洗濯上の注意

	液温は 40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		アイロン仕上げ禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ドライクリーニング禁止
	タンブル乾燥禁止		非常に弱い操作によるウエットクリーニングができる
	日陰のつり干しがよい		

- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 洗濯機をご使用の際は、お使いの洗濯機の取扱説明書をよくお読みの上、洗濯してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 干すときは十分にすぎ、軽く脱水し、形をととのえてください。
- シートカバーを洗濯するときは、背面に入っているクッションを取りはずしてください。

## 本体のお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

### ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。
- 座面のクッション材は洗濯できません。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体をいためるおそれがあり危険です。

# 保管・廃棄のしかた

## 保管のしかた

### 本 体

長期間使用しないときは、車からおろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

## 廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたプースタークッションは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

## 製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。

下記のホームページをご覧ください。

[www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html](http://www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html)

## 『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後10年」です。

標準使用期間を経過した場合、材料の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。







# コンビ株式会社

- ホームページ
- オンラインストア(部品購入窓口)

[combi.co.jp](http://combi.co.jp)  
[combi.co.jp/store](http://combi.co.jp/store)

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)  
受付時間：9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)  
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271  
TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当  
受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)  
〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16  
TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

\*コンシューマープラザホームページ [combi.co.jp/soudan](http://combi.co.jp/soudan)

200546030